

2035年の目指す姿

技術力とデジタル変革で、 日本を代表する先進的な インフラ企業

- 「九州にパワーを届け、社会を元気にする」という存在意義のもと、「信頼」「進化」「共創」の価値観を大切にした事業活動を展開し、「技術力とデジタル変革で、日本を代表する先進的なインフラ企業になる」ことを目指します。

KPI

年間停電量:25.4MWh以下^{※1}

設備拡充・更新工事:計画達成^{※2}

第2世代スマートメーター設置:100%^{※3} 車両電動化:100%^{※4} 成長事業:1件/年^{※5}

※1 2023～2027年度平均 ※2 2023～2027年度累計 ※3 2034年度 ※4 2030年度 EV化に適さない車両を除く ※5 新規案件化・参画案件数

事業環境

機会

- カーボンニュートラル実現に向けた再エネの導入拡大
- 必要な投資の確保とコスト低減の両立を目指したレベニューキャップ制度の導入
- データセンター・半導体工場など大規模需要の進出
- デジタル技術の進展

リスク

- 設備高経年化の進展
- 需給逼迫
- 再エネ導入拡大に伴う需給運用の複雑化
- 自然災害の激甚化
- 人口減少による施工力不足の深刻化

強み

- 九州の電力供給を支える設備・人材
- 業界トップクラスの技術力(建設、保守、運用、災害復旧)と電力品質
- データ(系統・設備、需給運用、スマメデータ)
- ステークホルダーとの接点(お客さま、自治体・企業等)
- 九州における認知度と信頼

事業戦略

戦略① 安定供給とコスト低減の両立

- 高経年化対策を含めた設備の効率的かつ適切な更新
- 激甚化する自然災害等に迅速に対応できる設備・運用対策によるレジリエンスの確保
- デジタル技術等を活用した抜本的な業務効率化や組織変革の継続的な推進

戦略② カーボンニュートラル実現に向けた送配電ネットワークの高度化

- 広域系統整備計画に基づく連系線・基幹系統の整備への対応
- 再エネ大量導入と電力品質維持に向けた需給運用・系統安定化技術の高度化

戦略③ 多様なパートナーや地域との連携による企業価値向上

- 保有する経営資源やノウハウを活用した価値共創
- 国内・海外における成長事業展開による収益拡大
- 企業誘致活動や電化推進による九州地域の発展やカーボンニュートラル実現への貢献

戦略④ 持続的な進化に向けた事業基盤の強化

- 行為規制を始めとする法令遵守、信頼・安全最優先の事業展開
- 多様な人材活用による従業員エンゲージメント向上
- 協会会社を含めた施工力確保に向けた業界の魅力向上
- AI・ロボット活用などDXによる抜本的な業務変革・生産性向上
- 事業基盤の安定化に向けた自己資本比率の継続的な向上

関連するグループ重点戦略

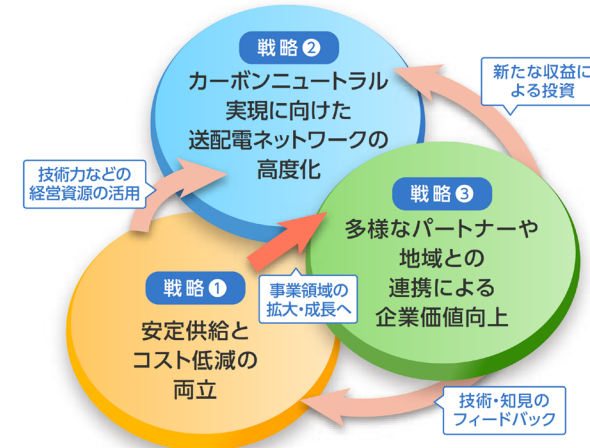
- II.ソリューション進化
- III.地域共創
- IV.人的資本
- V.DX推進

I.カーボンマイナス

- I.カーボンマイナス
- II.ソリューション進化
- III.地域共創
- VI.ガバナンス

- II.ソリューション進化
- IV.人的資本
- V.DX推進
- VI.ガバナンス

戦略展開イメージ



事業基盤の強化

- 信頼・安全最優先
- 人材の活用・確保
- 業務変革生産性向上